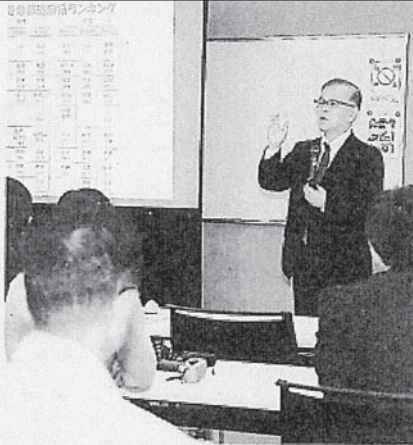


中路特任教授(右奥)が講演した県健康経営セミナー



「職場で健康づくりを」

弘前で 弘大・中路特任教授講演

弘前市で県健康経営セミナーが9日、弘前市の弘前市民会館で開かれた。弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授が講演し、同市や周辺市町村から集まった経営者ら約50人が職場の健康づくりに対する意識を高めた。

県が、従業員の健康管理に取り組む県内事業所において、県健康経営セミナーが9日、弘前市の弘前市民会館で開かれた。弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授が講演し、同市や周辺市町村から集まった経営者ら約50人が職場の健康づくりに対する意識を高めた。

県健康経営セミナーが9日、弘前市の弘前市民会館で開かれた。弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授が講演し、同市や周辺市町村から集まった経営者ら約50人が職場の健康づくりに対する意識を高めた。

県健康経営セミナーが9日、弘前市の弘前市民会館で開かれた。弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授が講演し、同市や周辺市町村から集まった経営者ら約50人が職場の健康づくりに対する意識を高めた。

中路特任教授は、本県の課題として40〜50代の働き盛りの死亡率が高い現状を説明。「会社での健康づくりの強みは、地域とは異なり全体でやれること。その

ために企業のトップが健康宣言してほしい」と語り、「健康づくりに取り組む会社が評価されるようになる。時代を見誤らないで」と呼び掛けた。

このほか、地域の認定事業所のうち、張山電気(同市)と社会福祉法人つくし会(麩ヶ沢町)が取り組みを発表した。

同セミナーは10日に青森市、17日に八戸市でも開かれる。(太田佳希)